

富医ニュース

No.616 令和4年11月1日

一般社団法人 富田林医師会
会長 藤岡 洋
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail : mail@tondabayashiishikai.jp

富田林医師会管内

🍃🍃🍃 糖尿病性腎症重症化予防事業 🍃🍃🍃 事業説明会・研修会

9月22日午後8時30分より医師会大会議室において、富田林医師会管内糖尿病性腎症重症化予防事業に関連し、その事業説明会並びに研修会が開催されました。糖尿病性腎症の重症化予防の重要性はいうまでもないことですが、このほど厚労省から都道府県(保健所)、市町村(保健センター)、地域の医療機関との間で共通したツールを用いて糖尿病性腎症への移行を予防していく方針が示され、この事業についての説明会および研修会が開催される運びとなりました。

まず済生会富田林病院腎臓内科部長の米田雅美先生より「糖尿病性腎症の最新治療、かかりつけ医と専門医の連携」との標題での基調講演。糖尿病性腎症診療の基本に始まり、経過観察時の注意としてクレアチニン値のみでなくeGFRを重視し、eGFR 60ml/min./1.73m²を下回る場合、また蛋白尿が見られる場合には専門医への紹介を検討するよう強調されました。またSGLT2やGLP-1作動薬、MR拮抗薬さらにHIF-PH阻害薬など最新の治療薬についても言及され、基本から最新治療までコンパクトに解説していただきました。

続いて富田林保健所企画調整課 小谷様より「富田林医師会管内市町村糖尿病性腎症重症化予防事業」の運用について以下の説明をいただきました。

- 1) 患者の受け入れ:特定健診などの結果に基づいて診療の依頼があります。患者さんは図1「医療機関受診のおすすめ」を持参して受診される予定ですので、図2の医師記入欄に記入の上、継続受診を勧めてください。
- 2) 市町村への紹介・情報提供:会員施設に通院中の患者さんで生活習慣の改善が必要な方に対しては「市町村の保健指導」をご活用ください(図3「食事・生活指導依頼票 兼 意見書」をご利用ください)。
- 3) 市町村への協力:市町村では生活改善の必要な方に保健指導を実施しています。患者本人の同意を得た上でかかりつけ医に問い合わせをされることがありますので、その場合は当該患者さんの指導上の注意などにつ

調 整 日

10月分 11月8日(火)
PM3:00まで

11月分 12月8日(木)
PM3:00まで

11月の予定

- 1日(火)・休日診療委員会
- 8日(火)・調整日
- 11日(金)・理事会 13:30~
- 17日(木)・学術講演会
(WEBのみ)
- 21日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会
- 22日(火)・感染症対策委員会
・広報調査委員会
13:30~
- 25日(金)・広報調査委員会
(校正)
- 29日(火)・休日診療委員会



いて情報提供をお願いいたします。

以上の事業についての詳細な説明書、資料などは近日中に会員各位に配布される予定です。ご参照の上、事業へのご協力をお願い致します。

最後に富田林病院薬剤部 高城まり子先生より「CKDシール」の導入、普及についてご説明をいただきました。CKDシールとは患者さんのお薬手帳などに貼付して、一目でCKDであることを示し投薬や処方時に注意を促すもので、都道府県レベルでの導入が順次なされています。富田林医師会管内で導入された場合にはご活用をお願い致します。

夜間の開催にも拘らず多くの会員が参加され活発な討論をいただきました。本事業開始を機会に糖尿病、CKDの日常診療のみならず、市町村と緊密に協力体制を構築し糖尿病性腎症の重症化予防にいっそう努めていただきますようお願い致します。(文責:仲谷)

【図1】

2021.3 更新 令和 年 月 日

〒〇〇〇-△△△△ 富田千早市 河南 太子 様
健康推進部 保険年金課長

特定健診を受けられた方へ 医療機関受診のおすすめ

健診の結果、HbA1c または、空腹時血糖が基準値よりも高く、かつ尿蛋白が(±)以上、eGFR が 60 未満 (腎機能の低下) であったことをお知らせします。本状を確認の上、医療機関(内科)を受診し、裏面を見てもらってください。

HbA1c = 〇 %
空腹時血糖 = 〇 mg/dl
尿蛋白 (〇)
eGFR = 〇 ml/min/1.73 m²
※本人の結果を差し込みます

健診の結果 ➡

【 問い合わせ先 】
各市町村担当部署
住所：〒
担当：氏名
電話：

市役所では、保健師が生活習慣改善に向けた健康相談を実施しています。
お気軽にご相談ください。(無料)

※この通知は、糖尿病の発症及び重症化予防、合併症の早期発見を目的として送付いたします。本状と行き違いで既に医療機関にご相談・受診されている場合は、失礼の程何卒ご容赦ください。
※受診確認や健康教室の案内のため、電話や訪問をさせていただくこともございますが、ご協力をお願いいたします。

特定健診(無料)は毎年受診しましょう

【図2】

この面を医療機関(内科)の医師に見てもらいましょう。
受診後は下の【医師記入欄】を記入してもらい
保健センターまで提出してください

診療のお願い

日頃より、本市の保健事業へのご協力を賜り誠にありがとうございます。健診の結果、血糖高値および腎機能低下の疑いをみとめましたので、ご高診のほどよろしくようお願い申し上げます。

受診勧奨基準

① HbA1c(NGSP)≧6.5%または空腹時血糖 126mg/dl
② 尿蛋白≧(±)または eGFR <60ml/min/1.73 m²
③ 未治療または治療中断
上記①～③のすべてに該当していることが基準です。

患者様が定期受診中であっても、特定健診の対象となります。定期検査には、年1回の特定健診の項目のご活用をお願いします。

【医師記入欄】 ➡ 受診後、医師記入欄を記入いただき患者様にお渡し下さい。
□には該当箇所すべてに☑をお願いします。

令和 年 月 日 ご紹介の患者を診察しました。
医療機関名() 主治医名()

□ 専門病院(医療機関:)を紹介しました。
□ 当院で治療します。次回受診()か月後
□ 当院で経過観察します。次回受診()か月後

保健指導の必要
(□あり・□なし)

その他何かあればお知らせください
()

ここをチェック

【図3】

〇〇保健センター(〒:) であて 記入例

食事・生活指導依頼票 兼 意見書

以下の患者さまの食事・生活指導を依頼いたします。

依頼日: 年 月 日
施設名: 病院・医院・クリニック
担当医 サイン:

指導を要する項目: 食事 アルコール 運動 禁煙 その他 ()

指導を要する項目にチェックをお願いします。

指導するにあたっての注意点: 食事のカロリー制限、運動の可動域制限など

※運動禁忌の疾患の有無 → 狭心症 不整脈 高血圧 (収縮期血圧 180 mmHg 以上)

● 患者さまの状況

氏名(ふりがな): T・S・H	性別: 男 女	年齢: 歳
住所:	電話: -	

疾患(疑い含む): 糖尿病(予備群) 空腹時血糖: 120 mg/dl
 糖尿病 HbA1c: 6.2 %
 その他 ()

治療状況: 糖尿病の薬物治療中
 治療なし(指導、通院等で経過観察中)
 他の治療 - 脂質異常症・高血圧
その他 ()

● 患者さまへの説明

【医師チェック欄】 指導を受ける必要性について説明しました
【スタッフチェック欄】 日程の調整は保健センターへ自分で連絡することを伝えました
その他:

〇〇保健センター(〒: ××-△△-〇〇〇)に連絡をして、「主治医から、指導を受けるよう言われた」とお伝え下さい。

令和3年3月 改定

令和4年 10月定例理事会

日 時 令和4年10月14日(金)

13:30~15:00

場 所 医師会 大会議室

会長挨拶

報告事項

- 1) 6ヶ月~4歳コロナウイルスワクチン接種について
- 2) 令和4年度インフルエンザワクチン無償化について
- 3) 後期高齢者医療の窓口負担割合の見直しに関して
- 4) 新型コロナウイルス感染症患者の公費負担について
- 5) 河南町国民健康保険運営協議会委員(任期3年)
→前田先生・澤本先生
- 6) 医師会あすか会開催について(11月12日)
- 7) コロナ陽性自己登録者の対応について(休日診療委員会)

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 健康相談出務に関して(津々山台公園植木市:
11/5午後・11/6午前・11/6午後)
- 3) 社労士顧問契約に関して
- 4) 後期高齢者広域連合の健康診査におけるフレイル健診について
- 5) 令和5年 新年会 1月28日(土)

富田林医師会学術講演会(Web形式)

日 時 令和4年11月17日(木)

特別講演 14:00~15:00

座 長 やまだ脳神経外科クリニック

山田 恭史 先生

「生活支障度と病態に応じた頭痛診療

～診断から治療まで～」

演 者 近畿大学病院 脳神経内科 准教授/
遺伝子診療部副部長 西郷 和真 先生

今回は、慢性頭痛をテーマに講演の機会をいただき、
光栄に存じます。

さて、頭痛領域は、2021年に新しい片頭痛のガイドラ
イン改定が行われました。それと同時に、片頭痛予防薬

として抗CGRP抗体の注射薬が上市されました。この薬剤のインパクトは、大きな反響を呼び、多くの片頭痛患者の福音となっています。そして本年には、従来のトリプタンに加え新しい急性期治療薬としてラスミジタンが上市されました。さらに、海外で使用されている経口投与が可能なCGRP受容体拮抗薬も臨床応用が検討されています。これら新しい薬剤には、それぞれ適性にあった使用方法があります。今回は、その使用方法について、片頭痛研究から解明されてきた病態を踏まえて、既存のトリプタンをはじめとする今までの治療法や、そして、これら最近に上市された新規薬剤の使用方法について解説する予定です。

※参加申し込みは別紙をご覧ください。

※本会は大阪府医師会生涯教育制度「1.0単位」・取得カリキュラムコード「30・頭痛」「51・嘔気、嘔吐」を申請中です。

専門医から一言(講演のポイント)



阪和病院・阪和記念病院
統括院長/総長

北風 政史 先生

本講演は、最新の心不全診療についての情報提供とそのピットフォールについて述べた。以下にそのポイントを要約する。

- 罹患症例数が世界的に増加している心不全は主に心筋の障害により生じるが、その病態に血行動態障害や神経体液因子障害による心筋アポトーシス・心機能障害・腎機能障害などが関与する。
- 糖尿病治療薬であったフォシーガが主に収縮性の低下した心不全に対して有効であることから、ACE阻害薬、ARB、MRA、 β 遮断薬と並んで心不全治療の主役を担っていくものと期待される。
- しかしながら、心不全は腎不全を併発し、また、心不全治療薬の多くは血中カリウムレベルを上昇するため高カリウム血症が大きな問題としてクローズアップされつつある。
- このときに、心不全治療薬を減量するのはかえって心不全の予後を悪化させるため、欧米の心不全治療ガイドラインではよくないとされている。

- それより、心不全で併存しがちな高カリウム血症をロケルマなどで治療することにより適切に高カリウム血症をコントロールしながら、心不全治療薬を継続すること、場合によれば増量することが大切である。
- 今後はAI診療が医療の潮流を変える可能性をお話しして講演を終えた。
会員諸氏のこれからの心不全診療の一助になれば幸いである。

第2回 富田林医師会 外来感染症対策カンファレンス開催

去る9月27日(火)、外来感染症対策向上可算に伴う第2回富田林医師会外来感染症対策カンファレンスが医師会大会議室にて開催されました。第1回同様、医師会感染症対策委員長の藤岡雅司先生より「コロナ禍における国内の“反ワクチン運動”の現状と対策」というタイトルでご講演いただきました。(参加会員25名)5歳～11歳においては他の定期接種ワクチンと比較して新型コロナワクチン接種率だけが極端に低い事、SARS-CoV-2 vaccine hesitancyの特徴や要因、医療関係者としての責務などにつきわかりやすくお話いただきました。今後も不定期ではございますが、奇数月の第4火曜日14時30分より開催予定といたしておりますので、ご参加の程よろしく願いいたします。

特別寄稿 波多野 健 先生

府医から記念品をいただきました。🍷

昨年秋府医から賞状と白寿記念品を頂きました。早くから診療をしりぞいている身として分に過ぎたこととは思いますが有難く頂戴いたしました。さてここで些かではありますが仕事とは別に意を注いできた音楽についてどのように関わってきたかをアットランダムに書かせていただきます。私は或る事情から幼少の頃より母方の祖父母の元で育てられました。祖母は独身時代に師に就き日本画を習得し、家庭を持ってからは地方の県庁所在地でセミプロのような生き方をしていました。祖母の日本画に対する向き合い方をなんとなく目の当たりにしながら幼年時代を過ごしていた私は何故か全く無関係な音楽に興味を持つようになりました。

1940年(昭和15年頃)前後の周囲の音楽環境は現在と比べるとかなり貧しいもので、その貧しい環境の中から音楽に対する好奇心だけは相当強く芽生えました。

日支事変突入というさなか、ラジオ放送からは番組と番組の間の空白時間を埋めるためレコード音楽が流れました。祖父(検事退職後弁護士開業)は自分の聴きたい番組(詩吟など)が終わるとスイッチを切ってしまいます。私はこっそりスイッチを入れて飢えたように〈つなぎの音楽〉を聴き入りました。つなぎの音楽というのは空白時間を埋めるために流れるレコード音楽で、海外で録音されたマーチやワーグナーの管弦楽曲などのヨーロッパ系管弦楽曲です。

ワーグナーのほうは当時興味が少なく、行進曲が興味を中心でした。行進曲はタイケの「旧友」とかフチークの「剣士の入場」ほか沢山の独逸系マーチで、マーチを聴くと気分が高揚し明るい気分になりました。これが音楽との関わり合いの第一歩です。そのうちマーチだけでなく「軽騎兵」序曲、「詩人と農夫」序曲、そして序曲つながりで「エグmont」序曲や「蝙蝠」序曲、そして「蝙蝠」の作曲者ヨハン・シュトラウスといえおびただしい数のワルツとつながってゆきます。シュトラウスはヨハンに限らず一族のヨーゼフやエドワルトのワルツへと及んでゆきます。そして同等の平易さからモーツァルトの「アイネ・クライネ」など初歩的と言われるクラシックの曲とも友達になりました。

やがてベートーヴェン第5をはじめとするシンフォニーと仲間になり同時にシンフォニー以外の管弦楽曲とも友達になりました。音がうるさいと言っていた祖父の耳に入らないようにいろいろな工夫をしましたが、そのうち諦めたのか何も言わなくなったのですが一言も触れないというのはあまり気持ちよくありませんでした。相前後してポータブルの蓄音機というものをこっそり祖母に買ってもらいラジオ放送に頼らずレコードで交響曲や多彩な管弦楽曲を聴くことが出来るようになりました。

ところでラジオの休憩時間に流れる音楽や手持ちのレコードは楽器の音がするだけで歌が聞こえてこないのです。そこで改めて歌を聴くためドイツリードのレコードを聴き漁りヒュッシュユなどの名歌手の美声に酔いしれました。十分に詩を理解したわけではなかったと思いますが詩の内容に沿ったデリケートなピアノ伴奏がいかに大切なものかということがわかり始めたと思います。

歌とピアノの世界は何か素朴な日本画とどこか通じるものかもしれないのでドイツリードはこれからも大切に付き合わねばなりません。



前後しますがディアナ・ダービンという女優さんが主演した「オーケストラの少女」という映画が封切られ、中学校の推薦映画となり全校で鑑賞しました。映画の中でダービンによって歌われたヴェルディの歌劇「椿姫」からの「乾杯の歌」はこの時以来愛聴曲となりました。

そしてこの映画にはもう一つスコフスキーという有名な指揮者がリストの「ハンガリー狂詩曲第2番」を指揮する場面が挿入されています。指揮棒を持たないでオーケストラを指揮する姿を見てその姿に一種の憧れを抱きました。これ以後自由勝手に歌を歌いながら腕を振ったりする癖も付きました。

中学を卒業して上京し伯母の家に厄介になりますが、そこでもラジオの問題は実家とそれほど変わらない事情がありました。つまり番組が終わって次の番組開始まで時間があるときレコード音楽が流れるのです。いい音楽が流れ始めたな、もっと続けて聴きたいと思っている瞬間にスイッチを切られてしまうので、本当に悲しい思いをしました。音楽に対する欲求不満が募り思案の挙句思い切つて銀座のプレイガイドで新響(今のN響)のチケットを入手しました。

中学卒業したてのようなものがチケットを求めると店頭を訪れる姿は大勢の客や店員の目からどのように映ったか、私は背中に冷笑を感じていました。その頃の新響指揮者はローゼンシュトックと言ひユダヤ系のドイツ人で、彼の指揮に接し得たのは全く僥倖で揺籃期の日本の音楽界に大変貢献しました。

そのローゼンシュトックの指揮ぶりは情熱的で、曲が高潮して来ると後ろから見る横顔も朱を帯び、熱気が伝わった客席も極度の緊張状態となります。彼の指揮による緊張の瞬間を鑑賞できたのも以後わずか数回で時代

の風潮に押しやられ、新響指揮者は邦人指揮者尾高尚忠に交代します。ローゼンシュトックは軽井沢に軟禁され終戦後アメリカに移住しました。時代は暗転の一途をたどり「勝つて来るぞと勇ましく」に始まる「露営の歌」などがいたるところの路上で聞かれるようになります。

遙かに時代を降つての事になりますが音楽環境は様変わりに好転し、自由に音楽に関わることが出来るようになりました。外国を訪れて聴くことが可能になったことでそのためのツアーが開始されました。直接現地で鑑賞したのは5、6回に過ぎませんがそれ以上のうれしいこととして、60年頃は未だまばらだつた訪日音楽家が80年頃から徐々に増加し、現在ではほとんどすべての著名な音楽家、団体が頻繁に来日するようになったことが挙げられます。おかげで少ない負担で優れた演奏を視聴することが可能となりました。私は長い年月の間に鑑賞の回数にして多い順にオペラ全曲約七百数十回、交響曲、管弦楽曲等約百数十回に達しました。同じ演目を異なつた演出、異なつたメンバーで鑑賞ということも可能なわけです。関東圏にも昨年まで居を持っていたため可能であつた数字だと思います。個々の演目についての詳細は別の機会に述べようと思います。

次に演奏活動についてですが、私は20歳ころからクラリネットを吹いていました。師に就いて本格的に始めたのは1960年頃とおもいます。その後縁あって大阪府医師会フィルハーモニー交響楽団のメンバーとなり活動しました。同じ耳鼻科の東大阪の故蛭沼進医師が団長を務めていました。最も印象に残っているのはいずみホールでの演奏会で、オペラアリアの「星は光っていた」(星も光りぬ)をプロのテノール歌手と共演したことなどが挙げられます。この曲はクラリネット奏者として最もおいしい曲の部類に入ります。定演曲目としては古典シンフォニー、オペラの序曲その他比較的ポピュラーな曲を演奏することが多かったと思います。オケで演奏する場合は楽器ごとにパート譜というのがありそれに従つて演奏するわけですがシンフォニーなどの大曲の場合各楽章に於いて各楽器とも出ずっぱり演奏するわけではありません。楽句の終わりに休止符があり休みに入ると長い休止の場合、休止符の小節の数を数えていないと次の出場所が解らなくなることがあるので要注意です。

個人としては現在も一日2時間前後は楽器と過ごし

ています。曲は主に練習曲と音階練習に絞っています。高音は大変難しくあまりむきになっていると唇を痛めたりもします。近年最上級の楽器を入手したのでその音色を楽しんでいます。

昔ばなしに戻りますが全く偶然ですがF・タリアヴィーニというテノール歌手出演のオペラ「ラ・ボエーム」の当日券チケットを入手しました(1954年、日比谷公会堂)。入手したのは確か会場付近を歩行中だったと思います。

タリアヴィーニについても「ボエーム」についてもほとんど予備知識もなかったのですが終演が近づく頃には感動の波が押し寄せてきました。キャストはロドルフォ役のタリアヴィーニ以外は邦人の歌手で、指揮は有名なグルリットという人でした。

第1幕の屋根裏部屋の舞台上でアクシデントが起こりました。舞台上の石炭ストーヴの煙突が壊れかけるのです。タリアヴィーニは歌唱と演技をしながら煙突の修理を完璧に、何ら不自然さもなくて行ってしまいました。余裕のあるこの演技に大喝采で後々まで語り継がれました。この時の様子などいまだ鮮明に覚えています。

バトンタッチ (第3回)

文才も無く、書きたい内容はありませんが、順番で書くように言われたので書かせて頂きました。ご興味の無い方はスルーして頂ければと思います。

私事ですが、コロナ禍において外出や運動など控えていたため、ここ数年はあまり運動が出来ずに運動不足になっておりました。そろそろ運動くらいはしていけないなと思っております。身近な運動としてウォーキングやジョギング、自転車などがありますが、私は小さい頃から乗り慣れている自転車を好んで乗るようにしております。幸い富田林市は金剛山などの山が近くにあり、(大人になってから気が付いたのですが、自転車は移動スピードが意外と速く、金剛山とか思っているほど時間がかからず近いんです。)少し時間があれば自転車で行けるので運動や気分転換に自転車で行ってみるのをおすすめします。車道を走りますので車には注意して頂きたいですが、自転車での上りに関してはそれほどスピードも出ない(出せない?)ので安全ですし、下肢に適度な負荷がかかった状態が保てますので良い運動になると思います。下りはスピードが出すぎるので

10月行事・会合

6日(木)・調整日

・学術講演会(ハイブリッド)

14日(金)・理事会 13:30~

17日(月)・訪問看護ステーション運営委員会

21日(金)・広報調査委員会

25日(火)・広報調査委員会(校正)

注意が必要です。

説明が難しいのですが、私の好きなコースとしましては千早赤阪村の森屋の交差点から金剛山の千早役場のある方に向かって上って行く道を主として走ります。そのままロープウェイ乗り場付近の駐車場まで上ったり、途中のトンネル(トンネルの名前を知りません)を河内長野方面に抜けて府道214号を通過して国道310号に出て左折し、金剛トンネルまで上って行ったり。それらを組み合わせ合わせてロープウェイ乗り場の駐車場へ行ってから下る途中で金剛トンネルまで上ってから帰ったりといろいろなコースで楽しめると思います。上ってしまえば同じ道を走って帰るだけです。他のコースで行きやすいのは、旧水越峠(トンネルの脇の道)です。現在は数年前の土砂崩れ?にて通行止めになっている様ですので走れ無いようですが、富田林方面から来て森屋の交差点を曲がらずに直進し、旧水越峠を奈良側まで下って、帰りを上るというコースです。旧水越峠の再開通を期待しています。

坂道で無くとも基本的に自転車はスピードが出てしまふ乗り物ですので事故だけは無いようにご注意下さい。

〈ペンネーム 自転車小僧〉

○会員数(11月1日現在) 171名

A会員 94名

B会員 76名

C会員 1名

○入会 なし

○退会 なし

○異動 なし

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	今城 幸裕
	植村 匡志	江村 俊也	奥野 敦史
	尾多賀 雅哉	遠山 佳樹	中村 元
	藤岡 洋	山本 善哉	山本 秀文